

とば  
市議会だよりホームページアドレス <http://www.city.toba.mie.jp/gikai/gikaiindex.htm>  
電子メールアドレス [gikai@city.toba.mie.jp](mailto:gikai@city.toba.mie.jp)「わらぞうりを作るおばあさん」 おく だ はじめ  
国崎小5年 奥 田 元

3月定例会

平成19年度鳥羽市一

般会計予算を可決

平成19年第1回定例会は、3月5日開会し、会期を19日間と定め、市長が施政方針及び議案の提案説明を行い、助役からは予算議案の説明がありました。一般質問を8日に行い4名の議員が市政全般について10件の質問を行いました。13日には議案に対する質疑を行い疑義を質し、その後一般議案（議案第30号）と人事議案2件をそれぞれ可決、同意しました。続いて14、15日に各常任委員会を開催し、付託された議案について慎重審査の上、原案どおり承認しました。23日の閉会日には、各常任委員長報告を行い、それぞれの報告に対する質疑、討論の後採決を行いました。市長提出の予算議案14件、条例議案10件、その他一般議案8件の合計32件を原案どおり可決し、その後議員提出の条例等の議案3件を可決し、閉会しました。



坂倉紀男議員

### 「財政健全化計画と集中改革プラン」について

- 問 ① 財政硬直化の基本的な要因についてきく。
- ② 公共施設の管理や業務の委託についてきく。
- ③ 職員の給与水準の見直しについてきく。

財政課長 ① 経常収支比率は改善の方向にある反面、公債費負担比率は上昇傾向にある。この要因について、市税は税源移譲による増収等が望めるが、歳出については社会保障経費や公債費等の一般財源の増が見込まれており、今後とも厳しい財政運営が強いられる。

行政改革推進室長 ② 本年4月から体育館、水泳プール、野球場、多目的グラウンドなどの有料公園施設の管理運営について、(財)鳥羽市武道振興会を指定管理者とするため、議案上程した。文化会館においては、施設規模が小さいこと等から難しく、一部委託と

することとしている。図書館については、ノウハウを持つ業者がほとんどない状況等から、将来は正規職員から年次の嘱託職員に移行をさせ、維持管理コスト縮減に努めていきたい。民間委託については、幼稚園、弘道小学校の送迎バスの運転、桃取小学校の学校給食、水道料金の徴収などを委託した。19年度に神島小中学校、20年度に神島保育所の給食の委託を考えている。

③ 歳出に占める人件費の割合は他市と比べ高く、団塊世代の定年退職者増加により、退職手当が増大する見込みである。このことから、今後も施設の統廃合や民間委託の推進を図るとともに、職員数の削減を行い、職員給与費の抑制に努めていく。

### 本市の文化力について

問 ① 本市における文化力をどのように評価しているか。

② 音楽、演劇の練習や発表場所、絵画や写真の展示ギャラリーなど文化力の強化のために多目的小ホール等を民間の資金や経営・技術的能力を活用したPFIなどで計画する施策はもてないか。

市長 ① 歴史文化ガイドセ

ンターを活用した文化遺産の展示やガイドボランティアによる史跡の案内、「海の香りのする詩」の取り組みをはじめ、広野邸、伊良子清白邸など歴史的遺産を活かしたまちづくりを計画しており、市民や観光客など多様な交流人口の増加につなげていきたい。

② 新たな場所に建設するとした場合、建設場所や資金の捻出方法などが大きな課題となってくる。ホール建設の可能性について引き続き検討していくこととして、当面は市民が文化芸術に触れ合うことができる機会の醸成を図って

中村欣一郎議員

### お金をかけず創意工夫で汗をかいて進めるゼロ予算事業について

問 ① ゼロ予算事業とは職員が知恵を絞って提案型の事業を展開し、地域とのつながりや一体感を深め、きめ細かい住民サービスを提供していく意識改革型、発想転換型の事業と言われている。職員が各種団体などの要請により現地説明をするものや、施設の有効活用、情報発信の有効活用、地域や市民のネットワー

クの有効活用などがあるが、本市にはそれに相当する事業実績はあるのか。

② 新年度のゼロ予算事業は。

③ 職員のひとくち提案の中には事業提案など、ゼロ予算事業に該当するものがあるのではないかと考えるが、どのようにつなげていくのか。

助役

① ゼロ予算事業として取り上げてきた経過はないが、人件費とわずかな予算により効果があると考えられるものとしては、職員が市民とのコミュニケーションを図ることを目的とした「おしゃべり対話事業」や、市内の商店街の皆さんの協力を得て行っている「とばっ子カード」の取り組み、市長の地区懇談会などが挙げられる。また、民間と市との協働による主なものとしては、ガイドボランティアによる観光サポート、歴史文化のまちづくりの充実を目指すまちづくりの交付金事業として、意見等を集約し、景観の保全等につなげていく取り組みもある。また、新工ネルギー教室やひとり暮らし老人住宅の防火診断調査、救急救命講習、防災訓練なども該当するものと考えている。この他にも、市民との協働や、医療と福祉健康づくり、観光教

育、水産研究や水道などの分野においても各課独自に工夫した取り組みがなされている。

② ゼロ予算事業の位置づけは行っていないが、先ほど挙げた事業は今後も継続していきたい。新年度では、防災上の観点から、タウンウォッチングを中心に積極的に市内各所へ出向き、情報収集と意見交換の場にしていきたい。

③ 今までに1109件の提案があり、ほとんどが事務改善、職場改善の提案などで占められていた。その中でゼロ予算事業として行えるものについては、それぞれ取り入れ、即効果が得られると思われる提案については、既に実行をしており、観光情報の発信としてすべての職員に観光パンフを配布することや、昼休みの消灯などの省エネルギーの推進、総合案内窓口の体制の充実などがある。検討課題としては、ノーマイカーデーの実施や職員による庁舎清掃、定期船の往復切符の発売などの提案があった。今後は、職員一人ひとりが情報収集の担い手として市内全域に及ぶタウンウォッチングを行うことを目標に、市民の方々の意見交換を通してより効果的、効率的な事業の実施に活かしていきたいと考えている。

戸上幸子議員

### 歳入増対策について

問 ① 市有財産への広告等掲載、国債購入、職員互助会公費支出は、どうなったか。

② 歳入増に主導権を發揮する課があるか。また、どのような増収案があるか。

③ 担税力を強化するための調整役の課はどこか。この1年間どんな施策を講じたか。

助役 ① 市の財産へ掲載する広告は社会的に信用度の高い情報で、内容及び表現も信用・信頼性が持てるものでなければならぬことから、実施要綱を定める準備を進めている。国債については、基金の運用として、4億円を購入し、基金残額を勘案し更新している。今後もより有利な方法での資金運用に努めたい。

職員互助会であるが、職員の福利厚生事業は、住民の理解が得られるものとする必要があることから、互助会へ加入する市町等で事業の見直し等を行い、19年度から職員の掛金を給料の1000分の7で据え置き、市町等の負担金を1000分の5に引き下げた。

② 財政課を中心に、自主財源を担当する部署が主体的に

取り組むものと考えている。歳入増案は、広告収入、普通財産の未利用地の活用と処分、公営住宅駐車場の有料化などを検討している。

③ 特定の部署が総括するのではなく、行政の施策として産業振興を初め、各施策が担税力の強化を担っている。

### カキ、ノリ被害への対応について

問 ① カキ、ノリ被害をいつ、どのように把握したか。

② 被害想定額、被害戸数等その実数額と対前年比、対平年比は。

③ 市に求められる救済策は。それに対する市の対応は。

農林水産課長 ①②③ カキ養殖とノリ養殖に分けて答弁する。カキ風評被害は、東京・大阪の市場から昨年12月10日を境に、カキが全く売れない状況にあるので出荷を自制して欲しい旨の連絡があった。一連の被害を受けた養殖業者は118戸であり、本年度の生産額は推測で7億8000万円程度となり、対前年度比23%、2億3000万円、対5カ年平均比32%、3億7000万円の減収と推測している。このことから融資等の支

援策を県、漁協と協議するとともに低利資金と風評被害の払拭等について知事に要望書を提出した。次に黒ノリについて、今季の暖冬、高水温による被害戸数は概ね58戸であり、生産額は7億2000万円であると推測しており、対前年度比16%、1億3000万円、対平年比25%、2億4000万円の減収になると見込んでいる。このことから運転資金の融資を漁協や県とも相談をしており、利子補給等の対応もしていきたい。

その他の質問○臨時・嘱託職員の待遇改善○移送サービス○保育料基準の改定

中村和徳議員

### 九鬼嘉隆と鳥羽の再生(まちづくり)について

問 ① 九鬼嘉隆を中心とした歴史・文化のまちづくりと鳥羽の再生についてきく。

② 都市再生の交流人口と費用対効果についてきく。

③ 今後の鳥羽の命運と決意についてきく。

まちづくり課長 ① 平成17年度から歴史・文化を生かしながら市民と協働でまちづくり交付金事業を実施している。

埋もれた文献などの資料を発掘し、現地調査を行い、できる限り史実に基づいた整備を行うことで市民には先人の偉業を再認識していただき、観光客には歩いて鳥羽の歴史物語を見ていただきたいと考えている。妙慶川を中心として相橋、大黒橋、石垣や散策道など水辺空間を整備している。今後の事業計画について、とばみなとまちづくり市民協議会で意見をいただきながら進めていきたい。

② まちづくり交付金事業は市民が快適に生活できるように整備することが大切と考えている。歴史に直接ふれることで文化力の向上にも繋がりが、相乗効果として快適性を求めて観光客が訪れるものと考えている。離島との交流について、マリントーミナルの建設や高速船の建造を計画している。島の旅社推進協議会や答志島活性化21委員会の支援や、九鬼嘉隆の首塚・胴塚など離島の魅力を発掘し、広報することで交流人口の増加を図っていききたい。全体事業費は、変更協議が国に認められると、9億9500万円になる。

③ 歴史・文化は他に例のないものである。市民が誇れるもの。それらを引き継ぎ、将来にわたって残してい

ける良質なストックの形成を目指して市民と協働で、ソフト面もあわせて、基盤施設の整備を進めていきたい。

### 市民から信頼される市職員像について

問 ① 創造力を發揮して、諸課題に果敢に挑戦する職員を育成していく方策は。

② 常に市民の視点に立ち、経営感覚を磨きながら仕事に取り組む職員体制を築くには。

③ これからの時代に対応していく人材育成についてきく。

助役

① 報告、連絡、相談を徹底するよう指導し、諸課題を職員全体で共有するような職場づくりに努めたい。そのことが職員の意欲が前向きになり、課題解決に取り組むことに繋がると考えている。

② 民間のコスト意識や顧客志向、経営の意識を強く認識して幅広い視野を持つて職場研修を行うことが、職場環境を活性化し、敏感で相手の立場を考え行動できる職員を育てることになると考えている。

③ 管理監督面から職場での実践を通じて教育指導を強化するとともに、研修面から自己啓発や能力開発などを養成していき、職員の資質の向上

を図っていく必要があると考  
えている。

### 議案質疑

戸上幸子議員

#### 賦課徴収費の過誤 納付還金について

問 還付しなければならな  
くなった額、過誤によってもた  
らされた新たな加算金など、  
損失額はどれだけか。発生原  
因について税務課はどう分析  
したか、導き出した教訓は。

税務課長 時効完成後に徴収  
した税の還付金額は本税15  
41万円、延滞金24万円、還  
付加算金211万円の合計1  
776万円になる。これに還  
付対象者の滞納金額1400  
万円を充当し、差し引き後の  
返還金額は376万円である。  
時効を中断させるには、督促  
や交付要求、差し押さえなど  
の中断事由が必要となる。こ  
れまで本市は、臨戸徴収や電  
話催告により納税者が口頭  
により租税債務を認めた場合  
は口頭承認として時効が中断  
されたこと認識し、徴収事務  
を行ってきたが、この口頭承認  
の事実を証拠により立証しな

ければ時効が中断しないことか  
ら、租税債権が消滅し時効が  
完成してしまうことになった。  
今後については、長期滞納者  
への時効中断対策として、滞  
納の承認書や誓約書の提出を  
求め、交渉に応じない者につ  
いては、不動産や債権などの  
差し押さえを実施するなど、  
時効中断事由の滞納者への債  
権管理を適正に行い、事務処  
理方法についても改めて精査  
・点検し、見直すべきものは  
直ちに改善・改革するための  
体制を築き、信頼回復に向け  
て取り組んでいく。

#### 老人福祉費の介護予防・地 域支え合い事業等について

問 ① 使用料の用途は何か  
② 介護保険事業所支援事業  
助成金の具体的内容は。  
③ 日常生活用具給付事業の  
ベッド購入助成事業補助金の  
内容は、どのようなものか。

健康長寿課長 ①② 本土と  
離島住民の介護サービスの提  
供を受ける機会の不均衡を解  
消するため、介護サービス事  
業者に対し、佐田浜駐車場の  
優待券の発行や市営定期船の  
船賃助成を行うものである。  
なお、佐田浜駐車場使用料と  
して24万円、市営定期船料金

の一部助成金として52万70  
00円を計上した。  
③ 介護保険制度の改正によ  
り、日常的に介護用ベッドの  
必要な方が介護認定の見直し  
によって、介護度が低い方に  
ついては介護保険給付の対象  
外となった。このことから、  
既に介護用ベッドを利用して  
いる多くの方々から、ベッド  
の利用に対する要望等が寄せ  
られた。こうした実情を勘案  
し、介護ベッドを必要とする  
方のニーズに配慮するため、一  
定の条件を設け、ベッド購入  
希望者に購入代金の一部を助  
成するもので、上限を5万円  
とし、10人分を計上した。  
その他の質疑 ○固定資産税  
の滞納繰越分について○行革  
推進委員会について○小規模  
作業所施設整備事業費補助金  
について

山本泰秋議員

#### 船舶建造費の高速船 建造費について

問 ① 船舶建造費2億76  
04万8000円は、費用対  
効果をどのように計上したのか  
② 船舶建造費の予算原資の  
内訳（資金の調達根拠）は。

定期船課長 ① 高速船を導

入することで、現在の船舶数  
7隻を21年度には6隻に減船  
し、新船については乗組員を  
2名体制にすることで人件費  
を削減するとしている。19年  
度決算見込みを基準にした中  
期的な経費削減見込み額は、  
船舶検査修繕費用で5年間平  
均で、約800万円、船員人  
件費で4900万円の削減が  
得られる。これに対し費用の  
増加分として燃料費で110  
0万円、公債費で1700万  
円を見込んでおり、経費的に  
は船舶削減による効果が期待  
できるものと考えている。ま  
た収入においても、快適性、  
利便性が向上され、観光客の  
増加が見込まれると考えてい  
る。

② 工事費2億7000万円  
と、監理監督委託料604万  
8000円の財源としては、  
まちづくり交付金7448万  
5000円、現在要望中の県  
補助金2700万円を特定財  
源とし、残りの一般財源1億  
7456万3000円は、辺  
地対策債と交通事業債を見込  
んでいる。

野村保夫議員

#### 情報管理費の住民情報化 推進事業について

問 ① 旧システムに支障が  
あって更改するのか。  
② 新旧システムの違いは。  
③ 7年間の債務負担行為と  
なっているが、完了時にシス  
テムが古くなっていないか。

企画課長 ① 電子計算セン  
ターに委託した計算や帳票発  
行業務の一部を各職場で即時  
に行うことにより、委託経費  
の削減と業務の効率化を進め  
るものである。

② 現システムは、一台のコ  
ンピュータですべての課のデ  
ータ処理を行っているため、  
一度にデータの参照などが行  
われると時間を要し、受付業  
務にも時間がかかっている。  
新しいシステムでは、受付端  
末と役割分担をさせた複数の  
コンピュータにより業務を分  
担させ、受付での待ち時間を  
短縮することなど業務の効率  
化が図られる。

③ 市民の重要な情報を安全  
に管理し、必要とする機器の  
能力や業務内容に十分なシス  
テムとするため、他市町での  
導入実績を検討し、さらに市  
の情報の根幹をなすという形  
から、10年間程度の基本的な  
システムの使用見込みを考え  
た上で7年間の債務負担とし  
た。

中村和徳議員

### 住民情報システム構築業務の債務負担行為について

問 7年間の長期にわたる債務負担行為の設定は、一企業

を利する行為に当たらないか。

企画課長 この件についてはリース契約の関係だと思っ

## 委員会

常任委員会では、付託された議案32件の審査を行いました。

### 総務委員会

総務委員会で審査した主な内容は次のとおりである。議案第3号平成19年度鳥羽市一般会計予算、歳入地方交付税について、委員から「地方交付税の算定は、今回から人口と面積に基準が移行しており、今後の方向が心配である。数値だけでなく実感として、新型交付税の影響は鳥羽市の財政にどのように与えているのか、また、人口減による見通しは」との質疑が出され、当局から「19年度は一割が人口と面積で算定される予定で、特に基準財政需要額の約50項目が対象になる。これによる18年度の基準財政需要額をベースにした新型交付税の試算

結果は約170万円であった。残りの9割を算定するには、単純に掛け算では出せないで、財政当局としては、今後も定住人口がベースになることから、人口減については、かなり危惧をしている。20年度の新型交付税の影響については、見通しが難しく、このペースで減少していくと1000万円単位で減っていくことになる。その影響額だけでなく、国の交付税の特別会計事体が苦しく、地方への配分率が出口ベースで締め付けられるので、徐々に減っていく予測をしているが明言はしにくい」との説明があった。

次に歳入土木費県補助金について、委員から「家庭用新エネルギー普及支援事業費補助金84万円、木造住宅耐震補助事業費補助金188万円と両方とも少額であるが、本市の利用希望者が少ないと見込

また、離島救急患者搬送費補助金は離島住民の方などが、救急患者となり、船を借り上げた場合それに掛かる経費として、市定期船料金の20倍を補助する」との説明があった。

### 文教民生委員会

文教民生委員会で審査した主な内容は次のとおりである。議案第3号平成19年度鳥羽市一般会計予算、歳出衛生費の衣装ケースを利用した生ごみ処理容器購入費について、委員から「補助割合はどれだけで、今年度の予定個数は」との質疑が出され、当局から「容



鳥羽市リサイクルパーク（大明東町）

器購入費用は5000円で、そのうち県補助が2分の1である。リサイクルパークで生ごみ処理の講習を行い、受講料2000円をいただき、受講者に容器を提供する。現在170個出ており、19年度は300個を予定している」との説明があった。次に教育費の学校建設費について、当局から校舎、体育館、グラウンド等の配置案の提示があり、委員から「鳥羽小学校建設基本設計ワークショップの意見を十分に入れた配置案か」との質疑が出され、当局から「今まで6回のワークショップを開き、PTA、建設委員会、地域の方々等のいろいろな意見を聞かせていただき、設計業者も交えて意見を吸収していただいた基本的な配置案である」との説明があった。続いて委員から「プールを作るように再三委員会でも議論したはずである。長い間待たされてきた子ども達のために、校舎建設とグラウンド整備に併せて一気にするべきではないか」との質疑に対し、当局は「鳥羽小学校の子ども達には、これまでいくつかの候補地があつて、長く待っていたのだいたいの事実である。子ども達の生活の舞台となる校舎、体育館などを先に整備し、プ

ールについては用地を確保し、将来的にはそこへ整備をしていきたい」との説明があった。

さらに委員から「プールについてはたくさん要望があり、また、相応な維持費がかかることも承知している。予算的な面で後回しになるというところであれば、きちつと説明をし当面はバスで市営プールまで送迎するとか、具体的なところまで保護者等と詰めていくべきである」との意見が出された。続いて委員から「堅神に決定していく条件の中にスクールバスを出すことがあったと思うが、どのように計画しているか」との質疑が出され、当局から「スクールバスの機能を有した地域コミュニティバスの運行ができないか検討をしている」との説明があった。

### 経済建設委員会

ていきたい」との説明があった。

経済建設委員会で審査した主な内容は次のとおりである。議案第3号平成19年度鳥羽市一般会計予算、歳出農林水産業費の水産研究所費について委員から「水産研究所を今後どのように発展させていくのか。また、種苗に関する予算が少ないように思うが」との質疑が出され、当局から「水産研究所での種苗生産はノリやワカメといった藻類が主である。魚介類については施設面や水の問題もあり、また、研究所職員は藻類の種苗生産に関して、県下でも高い技術をもっていることから藻類を中心に取り組んでいきたい」との説明があった。また、他の委員から「水産研究所が新たな養殖を進展させ、次世代の育成につなげて欲しい。また、地域の若者と共同で研究していくことも大切である」との意見があった。

社会ニーズや高齢化に対応したもののか」との質疑が出され、当局から「高速船はバリアフリー型で養殖漁場に影響を与える引き波が低いと言われる双胴船を考えている。速力は20ノットである」との説明があった。また委員から「高速船の導入により、運航形態はどうなるのか」との質疑が出され、当局から「19年度に1隻目、20年度に2隻目を建造する。21年度から1隻減船した5隻で運航する予定であり、船員2名体制を考えている」との説明があった。続いて他の委員から「定期航路事業は現在赤字経営であるが、高速船の導入により、どのように経営改善が図られるのか」との質疑が出され、当局から「現在7隻の船舶を保有しており、その内4隻が20年以上経過の老朽化した船舶である。そのためかなりの維持経費がかかっており、保有船を減らすことで、人件費の削減にもつながることから、高速船で対応し経営の改善に努めたい」との説明があった。さらに委員から「高速船建造にかかる収支計画の試算によると、21・22年度と旅客収入が500万円ずつアップしている。離島人口が減少している中、どのように算出したのか、また、

離島住民に負担はかからないのか」との質疑が出され、当局から「観光客の旅客収入が200万円から300万円を試算しており、20年度は離島への観光客の1%にあたる約2000人の増加を見込んでいる。国・県の補助航路であり、以前から受益者負担についての指摘を受けており、収支計画においても21年度に5%の値上げを前提とした金額を含んで計上している。しかし、この値上げは高速船建造によるものでなく、平成8年から消費税と答志島への最終便増便によるものを除き、値上げをしていないことに対し国・県から再三の指導を受けてきており、値上げも改善の一つであるとの指摘もある。また、補助金の減額も言われている中、今後の定期航路運営においてさらなる内部改善に努めていく」との説明があった。また、他の委員から「観光客増の見込みに対する確かな根拠がない。高速船はかなりの燃料費がかかるうえ、維持管理費等プラスアルファの経費が予想されることから、この収支計画は甘いように思う」との意見が出された。

次の定例会は  
六月を予定しています。

### 議会の主な動き

#### 1月

- 24日 伊勢志摩地区広域市町村圏議長会国会議員陳情(東京)
- 25日 三重県市議会議長会定期総会(鈴鹿市)
- 29日 第1回臨時会

#### 2月

- 1日 全国市議会議長会評議員会(東京)
- 8日 東海市議会議長会理事会(大垣市)
- 15日 広域行政圏市議会協議会総会(東京)
- 19日 全員協議会
- ” 議会運営委員会

#### 3月

- 1日 会派代表者会
- ” 議会運営委員会
- 5日 第1回定例会開会
- 8日 一般質問
- 13日 議案質疑
- 14日 常任委員会
- 15日 常任委員会
- 23日 第1回定例会閉会

#### 4月

- 10日 東海市議会議長会定期総会(四日市)
- 24日 議会だより編集委員会

# この議会で審議した案件と結果

議案番号	件名と主な内容	結果
議案第3号	平成19年度鳥羽市一般会計予算 歳入歳出とも98億2,700万円で前年度比2%の増。科目別の歳出は、議会費1億4,920万円、総務費13億817万円、民生費21億7,136万円、衛生費14億8,928万円、農林水産業費5億4,490万円、商工費2億3,665万円、土木費8億8,451万円、消防費3億8,899万円、教育費12億3,000万円、公債費12億4,939万円など。歳入は、市税31億7,989万円、地方交付税24億8,820万円、市債10億4,120万円など。	可決
議案第4号	平成19年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算 歳入歳出とも30億8,236万円で前年度比19.6%の増。主な歳出は、保険給付費18億8,198万円、老人保健拠出金4億6,569万円、介護納付金2億24万円、共同事業拠出金3億9,370万円、保健事業費3,771万円など。主な収入は、国民健康保険税8億6,773万円、共同事業交付金3億6,470万円など。	可決
議案第5号	平成19年度鳥羽市介護保険事業特別会計予算 歳入歳出とも15億5,125万円で前年度比2.3%の増。主な歳出は、地域支援事業費3,332万円、保険給付費14億6,195万円など。主な歳入は、介護保険料2億8,449万円、支払基金交付金4億5,737万円など。	可決
議案第6号	平成19年度鳥羽市定期航路事業特別会計予算 歳入歳出とも8億9,530万円で前年度比64.3%の増。主な歳出は、定期航路事業費の高速船建造費2億7,000万円、経営診断等の委託料などで、8億5,331万円。主な歳入は、航路収益4億7,102万円、市債1億7,450万円など。	可決
議案第7号	平成19年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算 歳入歳出とも1億6,917万円で前年度比4.2%の減。主な歳出は、事業費8,736万円、公債費8,180万円。主な歳入は、使用料及び手数料で5,549万円、繰入金1億1,337万円など。	可決
議案第8号	平成19年度鳥羽市福祉資金貸付事業特別会計予算 歳入歳出とも85万円を計上。歳出は、貸付事業が廃止されていることから過去の貸付金の回収管理に係る事務費と予備費で85万円。歳入は、事業収入と繰越金で85万円。	可決
議案第9号	平成19年度鳥羽市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 歳入歳出とも275万円を計上。歳出は、貸付事業が廃止されていることから過去の貸付金の回収管理に係る事務費と公債費で275万円。歳入は、事業収入、繰入金等で275万円。	可決
議案第10号	平成19年度鳥羽市老人保健医療特別会計予算 歳入歳出とも21億6,952万円を前年度比1%の増。歳出は、総務費1,590万円、医療諸費21億5,361万円。歳入は、支払基金交付金11億3,363万円、国庫支出金6億7,998万円など。	可決
議案第11号	平成19年度鳥羽市水道事業会計予算 収益的支出は12億9,886万円で、主なものは営業費用9億9,164万円、簡易水道費用1億3,994万円、営業外費用1億5,977万円など。収益的収入は14億5,748万円で、水道料金14億3,213万円など。資本的支出は5億7,669万円で、企業債償還金4億236万円、建設改良費1億7,433万円。資本的収入は1億1,427万円で主なものは企業債3,050万円、国庫補助金3,353万円など。	可決
議案第12号	鳥羽市副市長定数条例の制定について 地方自治法の改正により、助役に代えて副市長を置くことになり、その定数を1人とする。	可決
議案第13号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 副市長及び会計管理者（収入役の廃止に伴い新設）を置くことにより、関係する8条例を改正又は廃止するもので、「助役」の職名を「副市長」に改めるほか、収入役に関する条例を廃止する。	可決
議案第14号	鳥羽市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の制定について (社)伊勢志摩観光コンベンション機構への市職員の派遣に伴い、法律に基づき、派遣等に関し必要な事項を定める。	可決
議案第15号	鳥羽市観光振興基金条例の制定について 本市の入湯税の導入に伴い、その財源を基金により管理し、観光の振興に役立たせるため定める。	可決
議案第16号	鳥羽市リサイクル活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について 一般家庭から排出される生ごみの発生抑制やリサイクルによる資源の循環を図ることにより、資源循環型社会を実現するため設置するもので、必要な事項を定める。 名称：鳥羽市リサイクルパーク 位置：大明東町（ひだまり横駐車場奥） 開所時間：午前9時から午後4時 閉所日：月曜日及び12月29日から1月3日 使用料：無料	可決

## 第1回臨時市議会

平成19年第1回臨時市議会は、1月29日開会（会期1日間）し、次の議案について審査のうえ全会一致で可決し、同日閉会いたしました。

**人事**

取得目的 鳥羽小学校建設事業用地（堅神町）  
取得価格 1億9532万9105円  
地積 1万7265・05平方メートル

取得目的 鳥羽小学校建設事業用地（堅神町）  
取得価格 1億9532万9105円  
地積 1万7265・05平方メートル

**固定資産評価審査委員会委員の選任に同意**

上村昌芳氏（河内町）  
（再任）

野村 薫氏（相差町）

人権擁護委員の推薦に同意

## 討論

戸上幸子議員

○ 議案第3号平成19年度鳥羽市一般会計予算  
○ 議案第4号平成19年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算  
○ 議案第9号平成19年度鳥羽市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算  
○ 議案第27号三重地方税管理回収機構規約の変更に關する協議について

## 反対

○ マリントウン21特別委員会（2/1・2/2）  
・りんくうタウンについて  
・泉佐野漁協青空市場について（大阪府泉佐野市）

前号（第118号）の9ページ4段目の最後の行の次の1行が脱落して、おりましたので、訂正して、おわびいたします。

三ツ島の維持管理業務の内容をきくとの質疑が出され、

議案番号	件名と主な内容	結果
議案第17号	<b>寝屋子交流の館の設置及び管理に関する条例の制定について</b> 市指定無形文化財である寝屋子制度の保存活用を組み合わせた交流拠点施設として、離島地域の活性化を図るため、交流の館を設置するもので必要な事項を定める。 名称：寝屋子交流の館 位置：答志町23番地 管理者：教育委員会	可決
議案第18号	<b>鳥羽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について</b> 民間の労働時間制度と同様の休憩時間とするため、午前・午後の2回設けてあった15分間の休憩時間を廃止して、昼間の休憩時間を12時15分から午後1時までの45分間とする。	可決
議案第19号	<b>鳥羽市職員給与条例の一部改正について</b> 人事院勧告に基づく一般職の国家公務員の給与改定に準じ、職員の扶養手当の額を改める。その内容は、3人目以降の子等の支給月額を、5,000円から6,000円に引き上げる。	可決
議案第20号	<b>鳥羽市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について</b> 入所園児の減少と保育所運営の適正化に伴い、松尾保育所を廃止し、船津保育所に統合するため改める。	可決
議案第21号	<b>鳥羽市学校設置条例の一部改正について</b> 鳥羽小学校を建設し、共通学区で児童の減少が著しい小浜小学校を統合することに伴い改める。なお、校舎建設に伴い国庫補助金申請手続き等に関して、本条例の施行は、平成21年4月1日とする。	可決
議案第22号	<b>指定管理者の指定について</b> ・指定管理者 (財)鳥羽市武道振興会 ・管理を行わせる公の施設の名称 市民体育館、野球場、相撲場、庭球場、多目的グラウンド(旧陸上競技場)、水泳プール ・指定の期間 平成19年4月1日から平成22年3月31日まで	可決
議案第23号	<b>市の区域内に新たに生じた土地の確認について</b> 答志並びに小浜漁港における海岸環境整備事業及び漁港改修事業等において行った公有水面埋立工事に伴い、新たに生じた土地、3件を確認する。 ①答志町字蜻蛉、字千賀石の地先 4,091.29㎡ ②小浜町字城山、字里等の地先 15,307.07㎡ ③小浜町字網ノ浜の地先 1,157.01㎡	可決
議案第24号	<b>字の区域の変更について</b> 議案第23号において確認した土地を、それぞれ次の字に編入する。 ①答志町字蜻蛉 4,090.29㎡ ②小浜町字里 15,307.07㎡ ③小浜町字里 1,157.01㎡	可決
議案第25号	<b>鳥羽市辺地の総合整備計画書の策定について</b> 辺地に係る公共的施設を総合的に整備するため、財政上の計画を策定するもので、その施設名等は次のとおり。①神島町 高速船建造事業 ②答志町 答志島コミュニティアリーナ、生活基盤近代化事業、高速船建造事業 ③菅島町 生活基盤近代化事業、高速船建造事業 ④桃取町 高速船建造事業 ⑤千賀町 小型動力ポンプ積載車	可決
議案第26号	<b>鳥羽市志勢広域連合規約の変更に関する協議について</b> 地方自治法の改正により、収入役が廃止され、会計管理者を置くことから規約を変更する。	可決
議案第27号	<b>三重地方税管理回収機構規約の変更に関する協議について</b> 議案第26号に同じ。	可決
議案第28号	<b>三重県自治会館組合規約の変更に関する協議について</b> 議案第26号に同じ。	可決
議案第29号	<b>伊勢地域農業共済事務組合規約の変更に関する協議について</b> 議案第26号に同じ。	可決
議案第30号	<b>志摩広域行政組合規約の変更に関する協議について</b> 議案第26号に同じ。そのほか、介護保険法に基づく通所介護事業所を新たに設置するため、組合の共同処理する事務に追加して、現在の施設で通所サービスも行えるよう変更する。	可決
議案第31号	<b>平成18年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号)</b> 歳入歳出とも、5,260万円を追加し、それぞれの予算総額を103億3,028万円とする。今回補正は、本年度最終であり、予算執行の調整をするほか、国の補正予算(住民オンラインシステム改修業務235万円)など計上するとともに、翌年度へまちづくり交付金事業9,510万円、菅島・答志・坂手の漁港関連事業で1億6,100万円など繰り越す。	可決
議案第32号	<b>平成18年度鳥羽市国民健康保健事業特別会計補正予算(第3号)</b> 歳入歳出とも、5,575万円を追加し、それぞれの予算総額を28億3,354万円とする。主な歳出は後期高齢者医療制度創設にかかるシステム導入等で1,024万円、退職被保険者等療養給付費負担金3,936万円など。歳入は後期高齢者医療制度にかかる補助金250万円、療養給付費等交付金3,878万円など。	可決
議案第33号	<b>平成18年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)</b> 歳入歳出とも、7,147万円を減額し、それぞれの予算総額を14億4,647万円とする。主な歳出は介護及び予防給付費負担金の介護サービス等諸費負担金7,000万円の減額など。歳入は国庫支出金、支払基金交付金など8,332万円を減額、介護給付費負担金1,975万円の増額など。	可決
議案第34号	<b>平成18年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第3号)</b> 歳入歳出とも、2,340万円を減額し、それぞれの予算総額を6億2,161万円とする。主な歳出は賃金等の不用額240万円、積立金の減額2,000万円など。主な歳入は一般会計からの繰入金2,388万円を追加、財源調整として航路収益3,570万円を減額。	可決
議案第35号	<b>平成18年度鳥羽市老人保健医療特別会計補正予算(第3号)</b> 歳入歳出とも、1,706万円を追加し、それぞれの予算総額を21億6,427万円とする。歳出は後期高齢者医療制度に対応するためのシステム導入費1,706万円。歳入は後期高齢者医療制度にかかる補助金350万円、繰越金1,356万円。	可決
議案第36号	<b>固定資産評価審査委員会委員の選任について</b>	同意
諮問第1号	<b>人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて</b>	同意
発議第1号	<b>鳥羽市議会会議規則の一部改正について</b> 地方自治法の改正により、議会制度の充実が図られ、委員会に議案を提出する権限が認められたため、その手続等を規定する。その他議録を電磁的記録とすることが可能となったことなどを定める。	可決
発議第2号	<b>鳥羽市議会委員会条例の一部改正について</b> 議員定数の削減、市の機構改革等に伴い常任委員会数を3から2とし、その名称を、総務民生委員会(委員数8人)、文教産業委員会(委員数8人)とし、それぞれの所管を定める。	可決
発議第3号	<b>議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について</b> 議会の議長、副議長及び議員の報酬について、「選挙された日又は職に就いた日」から「選挙された日又は職に就いた日」から支給する日割計算に改める。	可決